

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石久和

印省略

第647回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）の 開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

本講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるためのi-Constructionの取り組み、AIやロボットなど新技術を活用した公共事業、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と工事施工における合理化と安全対策など、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

このたびの第647回建設技術講習会では、これからの公共事業の展開、公務員技術者の今後の役割（技術者の育成、技術の伝承など）、地域住民や民間企業との協働による公共事業の推進、i-Constructionの取り組みなどについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久 和

印省略

第647回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、平成30年10月24日(水)～26日(金)、富山市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、これからの公共事業の展開、公務員技術者の今後の役割（技術者の育成、技術の伝承など）、地域住民や民間企業との協働による公共事業の推進、i-Constructionの取り組みについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は富山県・富山市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,400円	13,400円	13,400円	13,400円
富山県内の国・県に勤務	13,400円	2,000円	2,000円*	—
富山県内の市町村に勤務	2,000円	0円	—	—
北陸地区連合会管内の市町村に勤務	18,400円	2,000円	—	—
30歳未満	18,400円	2,000円	—	—
学生	0円	—	—	—

*特別会員は、開催県内勤務または在住の者

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※聴講のみの参加は可能です。 ※昼食の斡旋はありません。

※割引価格(2,000円)で参加の場合、取り消しはできません。

③現場研修料：7,500円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません。

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等をご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ) ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数「647」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成30年10月5日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成30年10月12日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成30年10月19日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS(予定)」の認定講習会です。
【聴講/現場】全建：8.5単位/3.25単位、CPDS：(未定)

講習会情報については全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

第647回建設技術講習会(これからの公共事業と建設技術者のあり方)日程 ～公共事業が抱える諸課題と今後の事業の展開、公務員技術者の役割、i-Constructionの推進、 資本整備の中長期的な品質確保と新たな技術研究開発推進の動向などを学ぶ～

- ・これからの公共事業の展開について
- ・公務員技術者の今後の役割について(技術者の育成、技術の伝承など)
- ・地域住民や民間企業との協働による公共事業の推進について
- ・i-Constructionの取り組みについて

会場 …… タワー111 (3階スカイホール)
〒930-0856 富山市牛島新町5-5 TEL076-431-5698(代)

(1日目) 開場11:40	平成30年10月24日(水)	(敬称略)
12:40 } あいさつ 13:00	富山県知事 富山市長 (一社)全日本建設技術協会 会長	石井 隆一 森 雅志 大石 久和
13:00 } インフラの整備と経済成長 14:30 ~全建会員がもつべき知識~	(一社)全日本建設技術協会 会長	大石 久和
14:40 } これからの社会資本マネジメントに関する取組みに 15:40 ついて	国土交通省大臣官房技術調査課 課長	岡村 次郎
15:50 } 安寧の公共学 16:50 ~これからの土木技術者に求められる資質~	(公社)土木学会 安寧の公共学懇談会 座長	石田 東生
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (18:00~19:30(予定))		富山地铁ホテル 11階「アルシェフ」 TEL076-442-8154
(2日目) 開場 9:00	10月25日(木)	(敬称略)
9:40 } 社会経済システムのイノベーションを創出する道路 10:40 ~社会資本政策の総合戦略とイノベーション~	日本大学特任教授・筑波大学名誉教授 (一財)日本みち研究所 理事長	石田 東生
10:50 } 社会資本整備を巡る状況と 11:50 未来を拓くリーディング・プロジェクト	(一社)日本プロジェクト産業協議会 国土・未来プロジェクト研究会 委員長 (公財)日本道路交通情報センター 副理事長	藤本 貴也
13:00 } 【地域事業の紹介①】 13:30 富山駅周辺整備について	富山県土木部都市計画課 課長	坂井 禎
13:30 } 【地域事業の紹介②】 [H29全建賞] 14:00 富山県美術館新築工事について	富山県土木部営繕課 主幹	長谷川 格
14:10 } i-Constructionの「深化」の取り組み 15:10	国土交通省大臣官房技術調査課 建設生産性向上推進官	横地 和彦
15:20 } 激甚化する最近の自然災害について 16:20	国土交通省水管理・国土保全局防災課 緊急災害対策企画調整官	松浦 直
16:20 } 閉会のあいさつ	富山県建設技術協会 会長 (富山県土木部 次長)	江幡 光博
(3日目) 集合 8:00~	10月26日(金) 【現場研修】	

富山市営富山駅北駐車場(JR富山駅北口) (8:30) 出発

- 立山カルデラ砂防博物館(下車説明) → 本宮砂防堰堤[国重要文化財](下車説明)
- 昼食(富山市内) → 富山県美術館[H29年全建賞](下車説明)
- 富山駅付近連続立体交差事業、富山駅周辺地区土地区画整理事業、路面電車南北接続事業(下車説明)
- JR富山駅(16:00)着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

全建CPD(継続教育)制度・CPDS(予定)認定プログラム 【聴講/現場】全建:8.5単位/3.25単位、CPDS:(未定)

第647回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 立山カルデラ砂防博物館

…………… 富山県中新川郡立山町芦峯寺

- 立山カルデラは、火山活動と侵食作用による独特の自然をもつ日本でも有数の大規模崩壊地で、立山の自然史を解くために重要な地域。
- 立山カルデラは、多量の崩壊土砂が残留し常願寺川流域に度重なる土砂災害をもたらしてきた。
- 土砂災害から富山平野を守るために100年以上も前から日本でも屈指の砂防事業が継続されている。
- 当博物館は、「立山カルデラの自然と歴史」及び「砂防」の二つのテーマを「知られざるもうひとつの立山」と位置づけ、立山カルデラにおける人と自然の関わりを広く紹介することを目的としている。



2 本宮砂防堰堤〔国重要文化財〕

…………… 富山市小見～中新川郡立山町芦峯寺

- 本宮砂防堰堤は、常願寺川の中流部に位置し、平野部の手前で土砂の流出防止や調節により災害を防ぐことを目的に建設された。
- 内務省が策定中の改修計画に基づき、富山県が緊急事業として昭和10年（1935）に県単独事業として堰堤の施行を内務省に委託。
- 本宮砂防堰堤は、昭和10年4月に設立された内務省新潟土木出張所により着工され、2年後の昭和12年3月に完成。
- 高さ22m、長さ107.4mで500万 m^3 という日本最大級の貯砂量を有する。
- 本宮砂防堰堤を中心として、豊かな自然環境に恵まれた水辺の体験型学習フィールドとして「水辺の楽校」を整備。



3 富山県美術館 【平成29年全建賞】

…………… 富山市木場町

- 移転新築前の富山県立近代美術館は、開館から30年以上が経過し、耐震性の不足等、施設のハード面での課題や発信力が弱く、高く評価されている美術館のコレクションが十分活用されていない等ソフト面の課題があった。
- 「県立文化施設・整備充実検討委員会」からの提言を受け、富山駅北にある県立の富岩運河環水公園西地区に移転新築。
- 富岩運河環水公園内に立地する特性を生かし、公園施設と一体の景観づくり
- 地域の地場産品を建物内外に使用し、富山の産業、技術を展示する役割を持たせた。
- 屋上庭園は「オノマトペ」という遊具が8つあり、これは美術館建設地に元々あった施設が子供たちの遊び場だったため、富山県知事が子供たちのために遊び場を残すことを要望し、整備した。
- 作品を保管する収蔵庫は洪水や、津波からの被害を受けないよう、2階・3階に設けた。



4 富山駅付近連続立体交差事業、富山駅周辺地区土地区画整理事業、路面電車南北接続事業

……………富山市明輪町付近

(富山駅付近連続立体交差事業)

- ・ 県都にふさわしい交通拠点の整備や、鉄道によって分断されていた南北市街地の一体化を目的に、在来線を高架化する連続立体交差事業を実施。
- ・ 北陸新幹線事業とあわせ、あいの風とやま鉄道線やJ R高山本線の高架化事業を実施しており、あいの風鉄道上り線及びJ R高山本線が平成 27 年 4 月に高架供用。あいの風鉄道下り線は平成 31 年 3 月に高架供用予定。
- ・ 新幹線事業と在来線高架事業を同時に行うことにより、高架後の駅がコンパクトな駅となることや、在来線営業のための仮駅の移設を 1 回のみとすることで工事費を低減。
- ・ 富山駅付近では、旧 J R 富山港線を路面電車化したうえで、上り線と下り線を一括施工する場合、施工幅が約 115m 必要であったが幅約 100m しか確保できず、上り線を施工し、その後、仮線の上り線を撤去してそのスペースに下り線を施工する 2 段階施工を実施。
- ・ 新幹線駅と在来線駅の間には仕切壁を設けず、雪の立山杉をイメージした白色の一本柱やガラスファサードを設けた統一的なデザインとし、明るく開放的な一体感を持たせた駅。



富山駅北口 (H30. 6)

(富山駅周辺地区土地区画整理事業)

- ・ 富山駅周辺地区の一体的なまちづくりを推進するため、駅前広場や都市計画道路などの基盤整備とあわせ、駅周辺における土地利用の高度化を図る。
- ・ 一般車を西口高架下に分離し、南北駅前広場はバス・タクシーの公共交通に限定することで、ゆとりある歩行者空間を創出。
- ・ 富山駅南口広場では、バス・タクシーロータリーを機能的にレイアウトし、特徴的な曲線を持つシェルターを配置。
- ・ 市民、来街者へ安らぎと潤いのある公共空間の提供を図る。



富山駅南口

(路面電車南北接続事業)

- ・ 富山市は富山駅の南側を富山地方鉄道富山軌道線、北側を富山ライトレール富山港線の 2 つの路面電車が走る。
- ・ 富山駅の交通結節機能の強化や都心地区と北部地区とのアクセス強化など利便性向上を図るため、富山駅南北の路面電車を接続。
- ・ 接続区間には制振軌道を採用するとともに、高架下停留場はバリアフリー対応とし、また、地場産材であるアルミや工芸ガラスの活用など質の高い軌道空間の創出を図る。



第647回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には富山市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3~1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成30年10月23日(火), 24日(水), 25日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

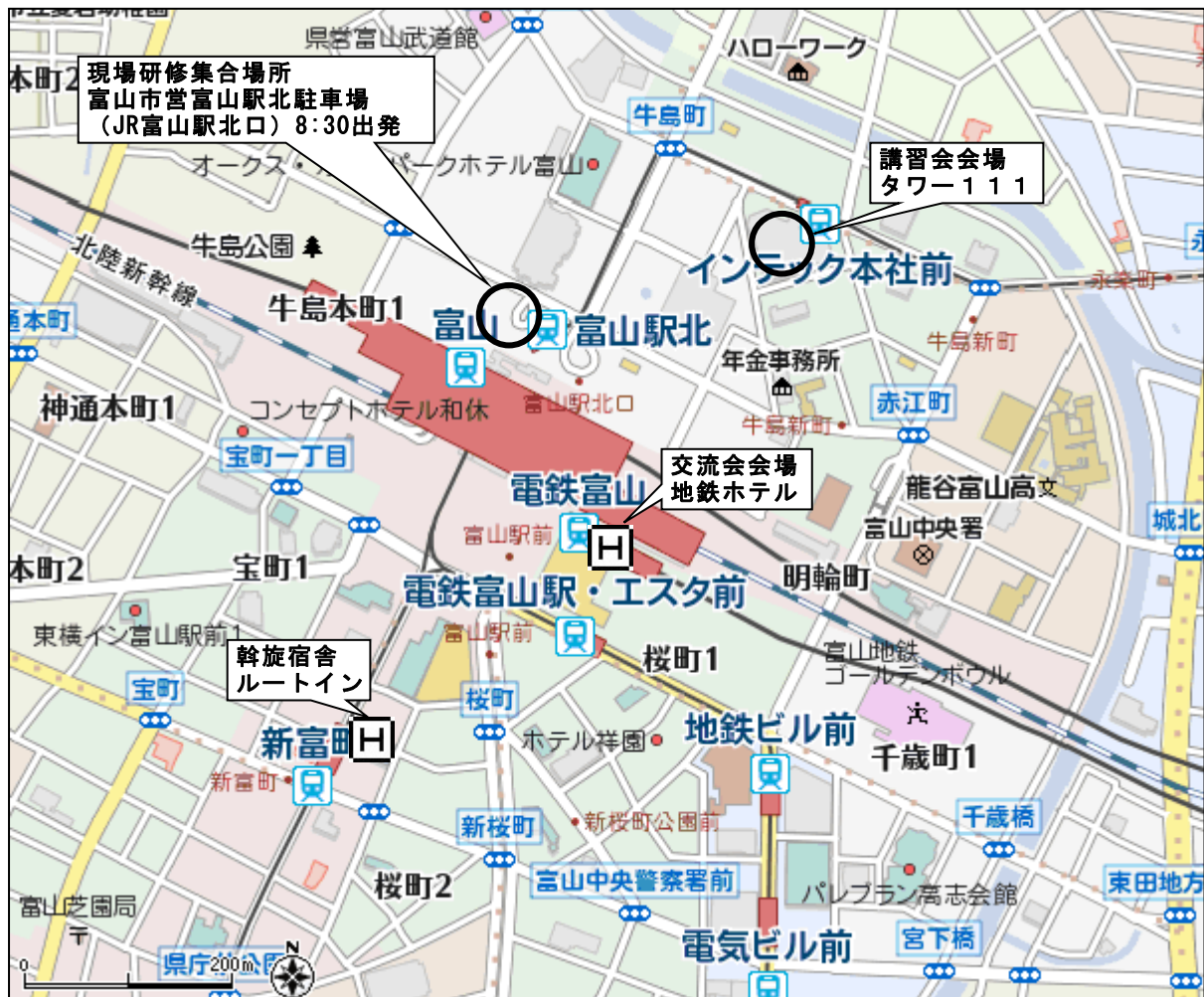
宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ルートイン富山駅前 富山市新富町1-3-3 TEL076-433-5111	シングル	40名	7,350円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第647回建設技術講習会に参加の皆様へ！ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成30年10月24日(水) 18:00～19:30(予定)
(第647回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：富山地铁ホテル 11階「アルシェフ」(予定)

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

- ※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
- ※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。
- ※服装については特に問いません。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- | | |
|----------------------------|----------|
| ・(一社)全日本建設技術協会 会長 | 大石 久和 |
| ・日本大学特任教授・筑波大学名誉教授 | 石田 東生 講師 |
| ・国土交通省大臣官房技術調査課 課長 | 岡村 次郎 講師 |
| ・国土交通省大臣官房技術調査課 建設生産性向上推進官 | 横地 和彦 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)
※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第647回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般(非会員)	会員	正会員 30歳未満			10月 23日	24日	25日
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元及び地区連管内の市町村) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」 及び開催地区連合会管内の市町村に勤務する「正会員」(賛助会員除く)						現場研修の昼食は不要の申し出はできません※		宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。		
現場研修料 名×7,500円＝ 円										
計						円				

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、割引価格(2,000円)で参加の場合、キャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。